



KIN-BALL® sport

キンボールスポーツ指導者のための心得

キンボールスポーツ指導者は単なるルールの伝達人ではありません！

(1)キンボールスポーツは、生涯スポーツの基盤づくりの活動である

- ・みなさんが伝えるのはゲームの勝ち方ではありません。みなさんはキンボールスポーツを通じてスポーツの楽しさや仲間のありがたさ、フェアプレイ（他者を思いやる）について気付く、学ぶ機会を提供する伝道者なのです。

(2)対象者に合わせた活動の質・量・教え方を常に工夫する

- ・対象者に合わせた活動とは発育発達段階に応じた活動のことです。
- ・特に子どもは大人の縮小ではありません。少年期のそれぞれの機能的・生理的・心理的側面を考慮した指導方法を行わなければなりません。指導内容に十分な工夫とアイデアを持つことが大切です。
- ・指導者自身の経験と勘に頼った指導ではなく、広い視野と科学的根拠をもった指導を心掛けましょう。

(3)あんな指導者になりたい、あんなプレイヤーになりたいとあこがれられる存在になる

- ・指導者としてふさわしい態度（立ち居振る舞い、言葉遣い）を身につけましょう。ベンチからプレイヤーに罵声を浴びせたり、相手チームをおとしめるような言動は絶対に避けなければなりません。また、指導者として、プレイヤーとしてレフリーの判定にクレームをつけることはキンボールスポーツそのものを否定することにつながります。
- ・あなたの立ち居振る舞い、服装、印象が初めてキンボールスポーツに触れた人にとっての印象につながります。
- ・指導者として知性と理性のそなわった人が受講者、プレイヤーの信頼と敬意を勝ち取ることができます。社会の動きにも敏感に。指導者としての知性が問われます。
- ・日ごろの研鑽を忘れず、指導レベルの向上につとめましょう。笛の吹き方一つにも指導者としてのレベルがわかります。

(4)リスクに対して常に敏感になる

- ・会場、練習方法などでどこが危険か前もって確認しておきます。
- ・事故、ケガが起きたとき、どのように対処するか、ファーストエイドの知識・技術を身につけます。万が一の時、初動時の対処の仕方でも責任を問われることもあります。
- ・指導者自身のリスクマネジメントとして指導者賠償責任保険に加入しましょう。

(5)気持ちのよい挨拶と気持ちのよい笑顔

- ・「こんにちは」「ありがとうございました」から始まるコミュニケーションが受講者、プレイヤーの満足度を高めます。

(6)勝利だけにこだわらず、常に指導者自らが研鑽を積み重ねる

- ・キンボールスポーツの技術だけでなくアイスブレイク*の手法なども指導者として重要な技術です。
- ・仲間づくりの手法も学び、楽しさを感じさせながら指導を進めます。

※アイスブレイク…初対面の人たちが集まっている場合、心も体も緊張していることがある。その緊張した状態(氷:アイス)をほぐす(壊す:ブレイク)ために行う活動のこと。

(7)行政・地域社会・学校・保護者・他クラブ・キンボールスポーツ連盟関係者などとの連携

- ・自分たちの活動範囲に閉じこもらず、外部の関係者に働きかけキンボールスポーツのよき理解者を増やしましょう。